

I - ①. 医療用サージカルマスク(不織布)

(単位:千枚)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	95,686	402,044
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	313,434	415,584
中国	287,371	395,334
その他	26,063	20,250
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	645,363	1,038,301
中国	627,903	1,001,124
その他	17,460	37,178
4. 国内出荷量	1,064,038	1,612,673
5. 輸出量	47,200	113,562
6. 在庫量	- (※3)	189,355 (※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・「日本向けの、海外の自社による生産量」及び「輸入量」の国別内訳については、各個人防護具の全ての対象期間において、4以上の企業から正の値の数値の記入があった国について、その国名及び数量を記載している。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

I - ②. N95マスク(N95とDS2の両基準を満たすマスクを含む)

(単位:千枚)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	6,855	39,775
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	4,255	33,214
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	2,223	22,554
中国	2,159	15,568
その他	64	6,986
4. 国内出荷量	8,237	66,631
5. 輸出量	4,534	24,810
6. 在庫量	- (※3)	3,193(※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・「日本向けの、海外の自社による生産量」及び「輸入量」の国別内訳については、各個人防護具の全ての対象期間において、4以上の企業から正の値の数値の記入があった国について、その国名及び数量を記載している。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

I - ③. DS2マスク

(単位:千枚)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	12,484	19,406
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	11,603	20,158
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	4,838	2,430
4. 国内出荷量	29,476	48,974
5. 輸出量	18	44
6. 在庫量	- (※3)	822(※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量
(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

I - ④. 一般用(家庭用)不織布マスク

(単位:千枚)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	403,840	1,473,851
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	1,608,196	4,371,688
中国	1,500,390	3,998,263
その他	107,806	373,425
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	977,706	3,675,559
中国	939,967	3,549,909
その他	37,739	125,650
4. 国内出荷量	2,740,946	8,803,638
5. 輸出量	25,911	83,485
6. 在庫量	- (※3)	988,607 (※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・「日本向けの、海外の自社による生産量」及び「輸入量」の国別内訳については、各個人防護具の全ての対象期間において、4以上の企業から正の値の数値の記入があった国について、その国名及び数量を記載している。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

II-①. 保護めがね

(単位:千枚)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	657	2,993
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	2,423	3,154
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	1,061	2,778
4. 国内出荷量	4,197	7,283
5. 輸出量	- (※5)	- (※5)
6. 在庫量	- (※3)	1,771(※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

※5 回答企業数が1社のため、数値は非公表とする

(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

II-②. フェイスシールド及びフェイスシールド付サージカルマスク

(単位:千枚)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	12,445	56,783
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	5,790	7,296
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	8,057	32,032
4. 国内出荷量	27,299	82,861
5. 輸出量	- (※5)	- (※5)
6. 在庫量	- (※3)	10,508(※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

※5 回答企業数が1社のため、数値は非公表とする

(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

Ⅲ-①. サージカルガウン

(単位:千枚)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	- (※5)	- (※5)
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	10,748	15,861
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	2,468	10,071
4. 国内出荷量	13,740	18,875
5. 輸出量	0	- (※5)
6. 在庫量	- (※3)	2,727(※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

※5 回答企業数が1社のため、数値は非公表とする

(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

Ⅲ- ②. アイソレーションガウン(不織布製)

(単位:千枚)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	- (※5)	89,688
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	3,865	21,506
中国	3,304	4,165
その他	561	17,341
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	7,093	94,338
中国	5,113	90,771
その他	1,980	3,567
4. 国内出荷量	10,395	190,429
5. 輸出量	0	0
6. 在庫量	- (※3)	4,204(※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

※5 回答企業数が1社のため、数値は非公表とする
(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・「日本向けの、海外の自社による生産量」及び「輸入量」の国別内訳については、各個人防護具の全ての対象期間において、4以上の企業から正の値の数値の記入があった国について、その国名及び数量を記載している。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

Ⅲ- ③. アイソレーションガウン(プラスチック製)

(単位:千枚)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	0	9,247
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	0	- (※5)
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	50,120	184,767
中国	48,198	178,533
その他	1,922	6,234
4. 国内出荷量	47,911	181,111
5. 輸出量	0	0
6. 在庫量	- (※3)	13,153(※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

※5 回答企業数が1社のため、数値は非公表とする

(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・「日本向けの、海外の自社による生産量」及び「輸入量」の国別内訳については、各個人防護具の全ての対象期間において、4以上の企業から正の値の数値の記入があった国について、その国名及び数量を記載している。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

IV. 全身防護服

(単位:千枚)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	- (※5)	166
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	916	1,450
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	5,752	9,161
中国	2,419	3,589
その他	3,334	5,572
4. 国内出荷量	4,386	8,534
5. 輸出量	0	0
6. 在庫量	- (※3)	1,435(※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

※5 回答企業数が1社のため、数値は非公表とする

(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

V-①. 手袋(ポリ塩化ビニル製)

(単位:千双)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	0	- (※5)
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	381,852	402,517
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	2,770,327	5,055,870
中国	2,223,049	4,207,474
ベトナム	248,947	494,499
その他	298,332	353,898
4. 国内出荷量	3,310,890	5,424,670
5. 輸出量	0	- (※5)
6. 在庫量	- (※3)	380,425(※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

※5 回答企業数が1社のため、数値は非公表とする

(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・「日本向けの、海外の自社による生産量」及び「輸入量」の国別内訳については、各個人防護具の全ての対象期間において、4以上の企業から正の値の数値の記入があった国について、その国名及び数量を記載している。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

V-②. 手袋(天然ゴム製)

(単位:千双)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	0	0
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	9,155	16,487
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	280,583	503,333
タイ	186,647	213,309
マレーシア	76,663	131,534
その他	17,272	158,489
4. 国内出荷量	298,892	552,015
5. 輸出量	0	0
6. 在庫量	- (※3)	53,045(※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・「日本向けの、海外の自社による生産量」及び「輸入量」の国別内訳については、各個人防護具の全ての対象期間において、4以上の企業から正の値の数値の記入があった国について、その国名及び数量を記載している。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。

V-③. 手袋(非天然ゴム製)

(単位:千双)

項目	コロナ前	コロナ後
	平成31年4月～令和元年12月(※1)	令和2年1月～令和2年12月(※2)
	数量	数量
1. 国内生産量(自社(関連会社含む)の(受託)製造)	0	0
2. 日本向けの、海外の自社(関連会社含む)による生産量 ※日本向けに生産し当該期間中に日本が輸入した量	486,533	830,245
3. 輸入量(上記2. は含まない) ※自社(関連会社含む)が直接輸入したものに限り	2,096,813	3,390,649
マレーシア	1,422,798	2,135,249
タイ	373,339	342,251
中国	163,652	497,031
その他	137,025	416,120
4. 国内出荷量	2,676,797	4,208,312
5. 輸出量	0	0
6. 在庫量	- (※3)	312,771(※4)

※1 企業が回答した「平成31年4月～令和2年3月の数量」から「令和2年1月～令和2年3月の数量」を引いた数

※2 企業が回答した「令和2年1月～令和2年3月の数量」、「令和2年4月～令和2年6月の数量」、「令和2年7月～令和2年9月の数量」及び「令和2年10月～令和2年12月の数量」を足した数

※3 令和元年12月末時点での在庫量は調査を行っていない

※4 令和2年12月末時点での在庫量

(留意点)

・今回の調査の回収率が約59%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難であることから、調査結果は網羅的ではない点に留意が必要である。

・「日本向けの、海外の自社による生産量」及び「輸入量」の国別内訳については、各個人防護具の全ての対象期間において、4以上の企業から正の値の数値の記入があった国について、その国名及び数量を記載している。

・時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「日本向けの、海外の自社による生産量」「輸入量」「前期の在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。